

## **酪農家でのこれからの活躍に期待！**

— 平成 26 年度導入乳用育成牛の譲渡 —

碓高原牧場では、酪農家の乳用子牛を 3～6 か月齢で購入し、和牛の受精卵を移植して妊娠させ、分娩の 2～3 か月前に再び譲渡する取組を行っています。

子牛の段階から山の放牧場を駆け回り、豊富な牧草を食べて健やかに育った妊娠牛を 9 月時点で 12 頭譲渡しました。さらに、来年 3 月までに 4 頭譲渡する予定としており、農場に帰ってから生乳生産への活躍が期待されます。



酪農家に帰っていく妊娠牛



山での放牧

畜産センター  
碓高原牧場